

岐阜信金、岐阜市公立大学法人が協定

研究と企業のマッチング探る

岐阜薬科大を設置する岐阜市公立大学法人と岐阜信用金庫は21日、企業と同大の研究とのマッチングを見据えた産学連携、持続可能な開発目標（SDGs）の推進を目的とした協定を、同市大学西の同大本部キャンパスで締結した。

（小田香緒里）

岐阜薬科大と産学連携



産学連携の協定を締結した（右から）好岡政宏岐阜信用金庫理事長、原英彰岐阜市公立大学法人理事長兼岐阜薬科大学長、柴橋正直市長＝同市大学西、岐阜薬科大

同金庫が地元取引先企業の課題やニーズを聞き取り、同大の薬学分野や周辺領域の研究との連携を探る。昨年には同金庫の仲介で、ガラス合紙メーカーの長良製紙（瑞穂市）と同大が新製品の共同開発をスタートしており、協定締結で同様の取り組みを広げたい考え。そのほか、同大の大学発ベンチャー、学生のキャリア形成の支援なども視野に入れる。

締結式には同法人理事長の原英彰岐阜薬科大学長、同金庫の好岡政宏理事長、柴橋正直市長が出席した。

原学長は「地域の企業の埋もれているニーズと一緒に見つけていきたい。それが世界に広がっていくことも考えたい」、好岡理事長は「企業の取り組みは日頃

から聞き取りしており、一件でも多く形にしたい」と述べた。柴橋市長は「連携する」と語った。

が岐阜を大きくリードする力になることを期待している」と語った。